

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	1403	(H.28)No.	1403
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども家庭室	福地 さおり	

会計区分	事業コード	190525
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	ひとり親家庭等日常生活支援事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	ひとり親家庭等日常生活支援事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
母子家庭、父子家庭及び寡婦の方へ、一時的に支援員を派遣し、必要な介護、保育等を行うことによってひとり親家庭等の生活の安定を図る。
事業内容
育児、生活の援助を受けたいひとり親家庭と援助したい人が会員となって必要な介護、保育等の相互援助を実施する。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	・ひとり親家庭への日常生活支援のための支援員の派遣等について、名張市母子寡婦福祉会へ委託により実施。  利用家庭数:20件 利用延べ回数:42件		・ひとり親家庭への日常生活支援の申請、支援員の派遣等について、名張市母子寡婦福祉会へ委託	
	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)		
	・ひとり親家庭への日常生活支援の申請、支援員の派遣等について、名張市母子寡婦福祉会へ委託	・ひとり親家庭への日常生活支援の申請、支援員の派遣等について、名張市母子寡婦福祉会へ委託	・ひとり親家庭への日常生活支援の申請、支援員の派遣等について、名張市母子寡婦福祉会へ委託		

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		597千円		1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円
内訳(千円)	国・県支出金	429		750	750	750	750
	地方債						
	その他( )						
一般財源	0	168	0	250	250	250	250
人工数	職員	0.17人		0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
	臨時職員等	0.08人		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
②概算人件費	0千円	1,411千円	0千円	1,036千円	1,036千円	1,036千円	1,036千円
①+②総事業費	0千円	2,008千円	0千円	2,036千円	2,036千円	2,036千円	2,036千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<p>県の事業が移管となり、平成27年度以降、市が名張市母子寡婦福祉会に業務委託して事業を行っている。ひとり親家庭の生活の安定を図ることを目的としており、児童扶養手当受給者が約700件ある中で、国の施策とともに今後制度の周知が進めば、急速に利用が増加していくことが見込まれており、継続的な予算確保と支援に対応できるだけの支援員の質・量ともに充実が必要である。</p>

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(現行)
継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	継続(現行)
さらに利用しやすくなるよう、支援員の資格研修を実施することで支援員の登録の促進を図る。ひとり親家庭の方が、一時的な理由によって生活援助や保育サービスが必要な場合に、支援員を派遣することによって、生活の安定を図る。	ぱりっ子すくすく計画

## 6. 事務事業の取組に関する市の計画